

エミリー はい。「This is a pen.」を暗記する必要はありません。

市長 では、日本の英語教育の将来について意見を聞かせてください。ネイティブスピーカーは、ノンネイティブスピーカーが外国語を学ぶことの難しさが分かりますよね。エミリーさんは日本語を勉強している。日本の子どもたちは英語を勉強している。外国語を学ぶことの大変さや、どのように乗り越えていくかについてご存知ですよ。

エミリー 個人的にはスピーキングを勉強するのが大変でした。私はアメリカに住んでいて全く話す機会がなかったので。だから日本にALTがいて、子どもたちが外国人と話す機会があることは素晴らしい。最初に日本語を話す練習ができたのは来日してからでしたが、話せませんでした。今後、日本の子どもたちが、もっと外国の人たちとコミュニケーションしたりテレビや映画など外国のメディアを取り入れたりして英語力を磨いていけると良いと思います。

市長 外国人観光客の数も増えています。津市の皆さんにとって英語を使う機会も増えて良いことだと思います。

エミリー みさとの丘学園では最近、6年生が修学旅行で京都と奈良に行きました。子どもたちには、修学旅行先で外国人観光客に英語でインタビューするという課題がありました。

市長 それはいい。



エミリー 子どもたちは、インタビューに答えてくれた人がどこから来たのか記録しました。みんなアメリカやオーストラリア、イギリスという答えが返ってくると思っていました。でも実際は、ペルーやメキシコ、南アフリカ。それで、子どもたちは世界中で英語が話されていることが分かりました。子どもたちには良い経験になったと思います。

市長 最後に、みさとの丘学園の児童・生徒を含め津市の子どもたちに、英語を上達させる方法についてメッセージをお願いします。

エミリー できることは何でも試してください。英語に関するどんなことにも挑戦してください。ゲームが好きな人は英語でゲームをやる、ゲームが好きな人は英語でゲームをやる、テレビが好きな人は英語でテレビを見る、本が好きな人は日本語版と英語版を買って両方一緒に読んでみる。そういうことが良い練習になります。勉強しているという意識を持たずに学習できる。実践的な英語を身に付けることにつながります。

市長 津市としても、子どもたちが自然に英語を楽しめるようにALTと最大限協力することを約束します。エミリーさん、津市での生活を楽しんでください。市民の皆さんも、エミリーさんとの語らいを楽しんでください。ありがとうございました。

エミリー ありがとうございます。

エミリー ありがとうございます。

外国語は実際に話してこそ機会があることは素晴らしい